

## 公益社団法人 日本地震工学会 第14回理事会議事録

**A. 日 時**：2015年3月12日（木）17時00分から20時15分

**B. 場 所**：建築会館 302会議室（東京都港区芝5-26-20）

**C. 出席者**：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 志波由紀夫，山崎文雄，福和伸夫

（担当理事） 新海 元，副島紀代，和泉信之，佐藤正行，藤川 智，年縄 巧，  
小檜山雅之，久田嘉章，古屋 治，鳥井信吾，境 茂樹，澤田純男

（監 事） 五十嵐克哉

（欠 席） 藤原広行，横井俊明，片岡正次郎，塚本良道，小林信之

オブザーバー出席：目黒公郎次期会長，吹野美絵事務局長

### D. 提出資料

- 資料 14-01 第13回理事会議事録（案）（副島理事）
- 資料 14-02 会務報告（新海理事）
- 資料 14-03 会計報告（平成26年度収支決算書(案)）（和泉理事）
- 資料 14-04 兵庫県南部地震20年シンポジウム報告（境理事）
- 資料 14-05 震災対策技術展・震災予防講演会について（境理事）
- 資料 14-06 若手研究者座談会 開催報告（志波副会長）
- 資料 14-07 長野県北部の地震（長野県神城断層地震）への対応（志波副会長）
- 資料 14-08 次期監事候補選挙の開票結果（藤川理事）
- 資料 14-09-1 功績賞候補（新海理事）
- 資料 14-09-2 功労賞候補（新海理事）
- 資料 14-09-3 論文賞の候補者について（福和副会長）
- 資料 14-09-4 論文奨励賞の候補者について（年縄理事）
- 資料 14-10 入退会者（藤川理事）
- 資料 14-11 法人会員の勧誘について（藤川理事）
- 資料 14-12 共催・後援・協賛等（副島理事）
- 資料 14-13 新規研究委員会（津波荷重の体系化）企画書（福和副会長）
- 資料 14-14 会長特別委員会（地域レジリエンス）企画書（副島理事）
- 資料 14-15 平成27年度 事業計画（案）（副島理事）
- 資料 14-16 平成27年度 収支予算書（案）（佐藤理事）
- 資料 14-17-1 次期理事会理事候補者の選考について（副島理事）
- 資料 14-17-2 次期理事会理事 推薦者一覧（副島理事）
- 資料 14-18 名誉会員の候補について（藤川理事）
- 資料 14-19-1 地震災害調査積立金規程（志波副会長）

- 資料 14-19-2 地震災害対応活動に関する規程（現行版）（志波副会長）
- 資料 14-19-3 地震災害対応活動に関する規程（改定案）（志波副会長）
- 資料 14-20 日本地震工学会 27 年度年次大会開催概要（案）について（古屋理事）
- 資料 14-21 事業企画委員会報告（鳥井理事）
- 資料 14-22 会誌編集委員会報告（久田理事）
- 資料 14-23 論文編集委員会報告（年縄理事）
- 資料 14-24 情報コミュニケーション委員会報告（小檜山理事）
- 資料 14-25 メール審議報告（2 件）（副島理事）

## **E. 議題**

### **E 1. 報告事項**

- 1) 第 13 回理事会議事録（案）確認（副島理事，資料 14-01）

「第 13 回理事会議事録（案）」について説明があり，本内容にて了承された。
- 2) 会務報告（新海理事，資料 14-02）

前回理事会から今回理事会まで（12 月 10 日～03 月 12 日）の会務報告がなされた。
- 3) 会計報告（和泉理事，資料 14-03）

今年度の収支決算見込みが報告された。なお，公益目的事業会計と法人会計に項目を分けた決算書は，最終決算後に次回理事会で提示予定である旨説明があった。
- 4) 兵庫県南部地震 20 年シンポジウムについて（境理事，資料 14-04）

1 月 24 日に 3 学会合同で開催された兵庫県南部地震 20 年シンポジウムについて，当日は一般市民を含む 132 名の参加者があり大変盛況であったことと，運営上のいくつかの課題・反省点について報告があった。
- 5) 震災対策技術展・震災予防講演会について（境理事，資料 14-05）

2 月 5 日～6 日に開催された震災対策技術展（横浜）での展示および震災予防講演会について報告があった。展示は次年度以降も横浜のみ引続き出展する方向で検討する（大阪や仙台といった地方での展示は原則行わない）ことと，出展時には出展内容・ブースの対応など，各研究委員会・理事・事務局の協力が必要であることが確認された。また，学会のブースということで来場者から専門的な質問を受けることもあるので，ブースでの対応をスペシャリストの方にもお願いしてはどうかという意見があり，今後検討することとなった。
- 6) 若手研究者座談会について（志波副会長，資料 14-06）

12 月 12 日に開催された若手研究者座談会（将来構想委員会主催）の様子が報告された。予算の制約はあるものの，今後も引続き若手会員向けの新しいテーマや活動を考えていくことが必要ではないかという意見があった。
- 7) 長野県神城断層地震について（志波副会長，資料 14-07）

11 月 22 日に発生した長野県北部の地震に対する学会調査団の活動報告と，5/15 に予定されている調査報告会のお知らせがあった。また，調査活動に伴う地震災害調査積立金からの取り崩し（30 万円）は次年度（2015 年度）となることが報告された。

## 8) 監事の選任について（藤川理事、資料 14-08）

1 月に行われた次期監事候補選挙の結果、勝俣英雄氏、中村晋氏の 2 名が選出されたことが報告された。また、2015 年度以降の役員選挙スケジュールについても説明があり、今回は 2016 年度に次期会長候補選挙および次期監事候補選挙が同時に行われることが確認された。

## 9) 表彰について

### (1) 功績賞（新海理事、資料 14-09-1）

平成 26 年度「功績賞」2 件の表彰者が承認された。

### (2) 功労賞（新海理事、資料 14-09-2）

平成 26 年度「功労賞」1 名の表彰者が承認された。

### (3) 論文賞（福和副会長、資料 14-09-3）

平成 26 年度「論文賞」1 名の表彰者が承認された。

### (4) 論文奨励賞（年縄理事、資料 14-09-4）

平成 26 年度「論文奨励賞」2 名の表彰者が承認された。

## 10) メール審議報告（2 件）（副島理事、資料 14-25）

1 月に実施された下記 2 件のメール審議が報告された。

- ・「名誉会員 田村重四郎先生のご逝去に伴う対応について」（安田会長発議）：承認
- ・「新入会員の承認について（H27 年 1 月分）」（藤川理事発議）：承認

なお、新入会員については、入会金および会費の入金が確認されてから入会とすることが確認された。（入会案内に明記されている）

## E 2. 議 案

## 11) 入退会者（藤川理事、資料 14-10）

「入退会者」の報告がされ、2015 年 3 月 12 日現在、新規入会者は正会員 5 名、学生会員 4 名、退会者（逝去者含）は名誉会員 1 名、正会員 6 名、学生会員 2 名が承認された。

以上の結果、個人会員数は、名誉会員 27 名、正会員 1,129 名、学生会員 113 名で、総数は個人会 1,269 名、法人会員 106 社となることが確認された。

また、正会員の会費未納者（42 名）および学生会員の会費未納者（35 名）に対する再督促の請求をすることとした。なお、1 年以上会費未納の場合には定款第 10 条により会員資格を喪失する（会員資格の停止）ことが確認された。

## 12) 法人会員の入会について（藤川理事、資料 14-11）

法人会員勧誘状況が報告され、引続き交渉中の法人への勧誘を進めると共に、入会済みの法人会員に対する等級変更のお願いなども検討することが確認された。

## 13) 共催・後援・協賛等（副島理事、資料 14-12）

以下に示す後援(5 件)の報告があり、承認された。

- ・後援：液状化解析実務講座（主催：地盤工学会）
- ・後援：構造工学フロンティア国際会議（主催：東京工業大学）
- ・後援：第 2 回 「震災対策技術展」大阪（主催：「震災対策技術展」大阪 実行委員会）
- ・後援：「防犯防災総合展 in KANSAI 2015」（主催：防犯防災総合展実行委員会、テレビ大

阪株式会社)

・後援：工学院大学総合研究所・都市減災研究センター 最終成果報告会（主催：工学院大学）

**14) 新規研究委員会の立ち上げについて（福和副会長，資料 14-13）**

下記新規研究委員会の立ち上げについて説明があり，承認された。

・（仮称）各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会（有川太郎委員長）

**15) 会長特別委員会の設置について（副島理事，資料 14-14）**

目黒次期会長から，昨今話題となっている自治体（地域）の防災格付け等への対応として，地域の防災力／レジリエンス力を適切に評価する方法を検討し学会として社会に発信することを目的に，下記会長特別委員会設置の提唱があり，承認された。

・（仮称）地域レジリエンス研究委員会

**16) 平成 27 年度事業計画（案）（副島理事，資料 14-15）**

定款第 36 条に基づき「平成 27 年度事業計画（案）」の報告がなされ，指摘事項を修正の上，承認された。

**17) 平成 27 年度収支予算書（案）（佐藤理事，資料 14-16）**

定款第 36 条に基づき「平成 27 年度収支予算書（案）」の報告がなされ，承認された。

**18) 2016 年の年次大会開催地について（副島理事，資料 14-15-2）**

前回の理事会で議論された年次大会の地方開催について，開催する場合は会場確保，企画，実行委員の選任等の準備に時間がかかるため，円滑な開催のためには前年のこの時期におよその開催場所について理事会の承認を得ることが望ましいことが説明された。その上で 2016 年度の大会について，大会実行委員会から前回理事会で提案された候補地のうち，昭和南海地震から 70 年の節目ということから第 6 回正副会長会議で合意の得られた「高知または大阪（関西）方面」という案が提案され，承認された。なお，今後の具体的な開催地の決定については，大会実行委員会が中心になって進めることが確認された。

**19) 次期理事会理事候補者の選考（副島理事，資料 14-17）**

平成 27 年度理事について，任期満了により退任する副会長 2 名，理事 9 名の後任候補者が承認された。

**20) 名誉会員の推挙について（藤川理事，資料 14-18）**

名誉会員選考委員会より，久保哲夫氏，川島一彦氏の 2 名が名誉会員候補として推挙され，承認された。

**21) 「地震災害対応活動に関する規程」の見直し（志波副会長，資料 14-19）**

「地震災害対応活動に関する規程」について，初適用した長野県北部の地震での対応活動の経験を踏まえ，より実効的な規程となるよう見直し案が提示され，承認された。

**22) 日本地震工学会年次大会-2015 について（古屋理事，資料 14-20）**

平成 27 年度大会の開催時期および開催場所について，大会実行委員会から 2 案が示され，議論の結果，11 月 19 日～20 日（於：東京大学生産技術研究所）で実施することが決定された。

**E 3. 懇談事項**

**23) 事業企画委員会からの報告（鳥井理事，資料 14-21）**

事業企画委員会の活動状況について報告があった。

24) 会誌編集委員会からの報告（久田理事，資料 14-22）

会誌 25 号の目次(案)について報告がなされた。

25) 論文集編集委員会からの報告（年縄理事，資料 14-23）

論文集編集委員会の活動状況および論文集特集号（津波特集号，JEES 特集号，強震動特集号，複合災害特集号）の進捗状況について報告があった。

26) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事，資料 14-24）

ホームページのメンテナンス状況，JAEE Newsletter12 月号の発行および 4 月号企画案，JAEE News について報告がなされた。

次回予定：日時：平成 27 年 4 月 17 日(金) 17:00～20:00

場所：建築会館 302 会議室

記録担当：総務理事 副島 紀代